

会 議 録

会 議 名		第4回市民憲章見直し検討委員会	
事 務 局 (担当課)		経営改革課	
開 催 日 時		平成28年11月28日(月) 18時30分から20時30分	
開 催 場 所		市役所4階 庁議室	
出 席 者	委 員	新川達郎、平岡けいこ、藏原亜紀、松尾幸恵、三井ハルコ、武内秀男、加門文男、後藤正順、佐々木史恵、真鍋静香	
	そ の 他		
	事 務 局	松木総合政策部長、作田行政経営室長、志波経営改革課長、的場経営改革課長補佐、八尾主査、山田主事	
傍聴の可否		可	傍聴者数 0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		(1)開会 (2)議事 (3)その他 (4)閉会	
会 議 結 課		別紙審議経過のとおり	

審議経過

発言者	発言内容等
	<p style="text-align: center;">サブタイトル「～わたしたちがつくる あんばいええまち～」の削除について</p> <p>【事務局説明】</p>
会長	<p>市議会の意見を踏まえて市で検討した結果、サブタイトルを削除してはという提案である。当委員会としてどう考えるか、意見をいただきたい。</p>
委員	<p>市議会の意見に「覇気のある言葉にしてもらいたい」とあるが、ここに覇気のある言葉を入れると本文との兼ね合いが難しくなる。柔らかくするという事で入れたと思う。</p> <p>総合計画は10年だが、「あんばいええまち」を目標としてやっていくわけで、できなかつたら実行しようということになるから、私は期限があるものではないと思う。「あんばい」という言葉を若い方がわからないというが、年をとってきて住んでみた結果、良かったなとわかるような人生を送ってもらえればと思った。</p>
委員	<p>市民憲章は長きにわたるものだが、やはり時代によって環境が変わってくるから、未来永劫というわけにはいかない。時代によって再度構成されるべきだと思う。今の時代にマッチしているものがあれば、そのまま「あんばいええまち」を採用してもいいと思う。</p>
委員	<p>私も「あんばいええまち」というサブタイトルはすごくいいと思う。</p> <p>市民の方の考えとの温度差がわからないが、議員さんにはあまり受け入れられていないのが残念である。良い意味でゆるく考えていただけたらよかったと思う。</p>
委員	<p>普段、市民活動に関わらせていただいている、パブリックコメントは目立つところに置いて手に取りやすいようにしているが、意見はあったのか。</p>
事務局	<p>意見が無かった。</p>
委員	<p>「あんばいええまち」は目玉というか、いいものができたと思っていたので残念に思う。少し崩した感じの今までとは違う市民憲章という方向性でいいと思っていたが、それが受け入れられないこともあるのかと感じている。それであれば削除も仕方ないと思う。</p>
委員	<p>前文に入る前に、何か寄り添うものがないと寂しいなという皆さんの意見があったから、「あんばいええまち」を入れたと思う。ただ、無くてもいいかなという気はしている。</p>
委員	<p>最初に市議会議員の方々がこんなふうにして欲しいと意見を出されて、それを私達が踏まえながら少しずつ皆でバランス等も考えて作成した。</p> <p>10年後、もしかしたら「あんばいええまち」が定着しているかもしれない。1つの言葉をとると崩れてきてしまうと思う。できたら「あんばいええまち」があった方がいい</p>

発言者	発言内容等
	<p>いと思うが、削除もやむを得ないとも思う。</p>
委員	<p>バランスを考えて作った。覇気とか堅いとかそういう問題ではなく、もっと柔らかくてわかりやすい、親しみやすいようなものという方向で私は良かったと思う。</p>
委員	<p>百歩譲って削除かなという考えは持っている。</p>
委員	<p>一番残念なのは、パブリックコメントで意見提出が全くないということ。一番怖いのは無関心。議員の皆さんも市民の代表ではあるが、市民がもっと参画できる場に出て行っていないことがすごく残念である。</p> <p>もしパブリックコメントでこの「あんばいええまち」についていろんな意見が出たら、もう少し判断材料があったのにと残念に思う。議員さんの意見だけで「はい、そうですか」でいいのか悩む。</p>
事務局	<p>広報やホームページに掲載、各公民館に設置するなど、十分に見ていただく機会があったと思う。私どもも市民の方から何らかの反応があれば判断材料になったが、結果的になかった。</p> <p>案を見ていただいたうえで、ご意見が無かったということもあると思う。</p>
委員	<p>パブリックコメントの件で、今回確かに0件だった。市民の方は憲章すらご存知ないからだと思う。地域に戻ってもほとんどご存知なかった。残念だがそれが実態である。</p>
会長	<p>「あんばいええまち」をいかがでしょうか。流れからすると削除派に傾いているかなという気はする。全体のバランスを考え、これからのまちを考えるうえでもこうしたあり方というのは望ましいし、ふさわしいのではないかという意見もあったが、削除という結論に至ったということによろしいか。</p> <p>ぜひ残すべきだというご意見、議会の意見とは真逆で、「あんばいええまち」ということに将来の姿を考えていきたい、また、この言葉を今掲げることでこれからのまちづくりが進んでいくのではないか、それがいろんな計画にも活かされていくことなのでちょうど良いのではないか、「あんばいええまち」というのが実現されていけばこの言葉自体のいのちもまた変わってくるのではないかと意見もあった。</p> <p>しかし、市民の総意という点を考慮すると、市民の代表である市議会の中でも比較的多数の方が形式的には反対しているということがあって、私どももそういった重要なご意見を当然尊重すべきということで、おおよその方向性は出させていただいた。</p> <p>残念ながらという言葉は付けておきたいと思うが、市の提案どおりここは削除ということにさせていただいてよいか。</p> <p>【異議なし】</p> <p>語呂合わせについて</p> <p>【事務局説明】</p>

発言者	発言内容等
会長	<p>引き続き、語呂合わせについてご意見をいただきたいと思う。</p> <p>「か・わ・に・し」という頭文字で作ることで、市民憲章として覚えやすい、親しみやすいものをということで、いろんな思いをできるだけ組み入れてきた。その中でいくつか無理のある言葉があるのではないかとということで意見があった。</p> <p>市では基本的に変更なしで考えてはどうかと示している。</p>
委員	<p>事務局の案でいいと思う。ただ重みがないという意見があったが、重みがあると堅くなってしまう。わかりやすい、やわらかい言葉で作っている。</p>
委員	<p>サブタイトルを断腸の思いで譲った以上は、本文の中身に関しては事務局案でいいと思う。訂正1つもなく、そのまま通すべきだと思う。</p>
委員	<p>私もこれに関してははっきりしている。あれだけ細かく動詞を前に持ってきたり、いろいろなことを検討してきたので。熟慮してきたので、このままでいいと思う。</p> <p>この文言は文章として完成させるというより、捉え方はそれぞれで思いを感じ合っていけばいいと思う。</p>
委員	<p>この市民憲章に対して少しでも関心をもってもらえるように、わかりやすく、口ずさみやすくということで考えてきた。</p> <p>「源氏ゆかりの地」である川西に賑わいと発展を市民一人一人が担いましょう、という意味。いろんな人が広く感じられるようにしてある。</p> <p>「あしたの話」ではなく「明日への思い(想い)」とする方が良いという意見があった。言葉はすごくきれいだが高抽象的だと思う。「あしたの話」となると、すぐ明日の川西のことを語り合おうということで具体的になる。</p>
委員	<p>語呂合わせの中でも言葉が精査されていて、今読み返してみても市のいろんなことがイメージとして浮かんでくる。解釈はいろいろあると思うが、多面にわたっている。これでいいほしいと思う。</p>
会長	<p>本文では「信じよう」への違和感、あるいは「担おう」「あしたの話」への意見があった。</p> <p>「分かちあう」というのも自然だけではなくて、「住みよい川西をみんなで分かちあおう」というところまで至る。</p> <p>丸印の川西という部分について、これも隠した方がいいとあるが、これだけ市民憲章がアピールしにくいとなれば、あの手この手しかないと個人的には思う。</p> <p>本文について、事務局も私たちの意をくんでいただき、しっかりとご説明をいただいております、変更なしでよいか。</p> <p>【異議なし】</p>
会長	<p>前文の変更について</p> <p>前文について、「幸せ「を」実感できるまち」のところを「幸せ「が」実感できるま</p>

発言者	発言内容等
	ち」と事務局の方で変更している。これは「を」がたくさん付くのでという意見があり、こういう表現がいかがかということで説明があった。これについて何か。
委員	「を」と「が」はどう違うのか。
会長	「幸せを」は目的語だが、「幸せが」は主語になる。「実感できる」は受け身の言葉と能動的な言葉の両方でとれるので、「が」でも「を」でも問題はない。論理的にはそうなるが、あとは私達が響きをどういうふうに使って、どちらのほうがふさわしいかを考えることとなる。
委員	「が」とすると、そこで切れる気がする。
委員	「が」でもいいんじゃないか。
委員	「を」が多いといっても3つしか入っていない。耳で聞いて唱和もしたが、そんなにおかしいとは思わない。どうしても気になるのであれば「が」とすると「が」の音がきついで、どうしてもそこで止まる。内容的にはそんなに変わらない。
会長	確かに「が」というのが「を」に比べるときつく聴こえるかもしれない。前文については、「幸せが実感できるまち」というふうに修正をさせていただいてよいか。ただ、「が」は強く響くということをつけ加えたいと思う。
	【異議なし】
	活用方法・PR方法について
	【事務局説明】
会長	この市民憲章をどのように市民の方々に知っていただくか、趣旨についてもご理解をいただいて、これからのまちづくりについて少しでも関心をもっていただき、積極的に関わっていただく。そんなことになればいいなとつくってきた。市民憲章として決定された後、どういうふう知っていただくか、定着させるかについてご意見をいただきたい。
委員	様々な催しで市民憲章を唱和することが拘束力を持つのではないかとの意見について、唱和を強制的に学校とか会合でやってほしいという意味ではない。検討結果にあるように活用例なので。
委員	私たち市民がつくるという意識が共有できる機会やプロセスがあっても良かったとの意見について、市民の方に意見を求めて参加してもらおうと思っても、多くの方の意見が出た時の取りまとめが大変で、市民憲章自体が市民の方に浸透していなければ、事務局案として作って、議会に報告する。また、パブコメで意見を求める機会も作っている。我々は順序を踏みながらやっている。 できれば地域の市民の方に市民憲章があるということを覚えてもらうためにも何

発言者	発言内容等
	<p>かの公示が必要であろうと、できれば学校のところに表示したらどうか、公民館に掲示したらどうか、何かの行事の時に披露したらどうかというような話だった。唱和については、一切強制的な話はしていなかった。その場の雰囲気に合わせてやればということで。</p> <p>できれば学校に掲示してもらえれば子どもが覚えられるかなと思うので、そういう方法もあるかなと思う。</p>
委員	<p>活用例だが、公民館・学校・体育館等の公共施設において、掲示板に貼るのではなく、額に入れて掲示してもらってはどうか。</p>
委員	<p>市民憲章が決まれば早く知らせないといけない。1年位はできるだけ広げるといふことで、コミュニティと協力してチャンスを作っていくといかないといけない。学校や公民館等にあるべきで、市役所にしかないということではおかしいと思う。我々も広げたいと思っている。</p>
委員	<p>小学生にもわかりやすいように作ったので、学校や公民館に飾っていただきたい。自然に皆が唱和できるように、市民の皆さんに親しんでいただければいいと思う。</p>
委員	<p>現実的かどうかかわからないが、このイメージに合わせた絵とか歌を子ども達に公募して知ってもらおうキャンペーンみたいなことが可能なら面白いと思う。</p>
委員	<p>私も同じようなことを考えた。決まったら広報かわにしに出すのか。</p>
事務局	<p>1月号の広報に掲載する。1月1日付の公示になる。</p>
委員	<p>なら、私の考えていることは間に合わないが、広報される前に市民憲章ができたら、広く関心を持っていただけるように、どのように使うかの問いかけを市全体にできればいいと思った。それならパブリックコメントより出しやすいと思う。それを広報誌で掲載するときに一緒にできればよかったが間に合わない。</p>
事務局	<p>検討します。もちろん広報のタイミングはあるが、機会を設けられたらできるだけやっていきたい。</p>
委員	<p>その時はセンターもできるだけ協力する。センターには子連れの方がたくさん来られるのでそういった方々に配付する。</p>
会長	<p>広報で発表した段階でどんな広め方がいいかを合わせて意見募集してもいいかもしれない。いろんなやり方ができると思うので、事務局にお願いしたい。</p>
委員	<p>1月号だけでなく、当分の間掲載してほしい。場所もとるわけではないし、表紙の裏とかに市民憲章の場所を設けてほしい。地域の広報誌では、掲載しようと思う。</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>地域ではいろんな広報誌とか機関誌を配るので、その時に小さく毎回出していただければわかってもらえる。そういうことを小まめにやるのが一番いいと思う。</p>
会長	<p>市がやらなくても地域の団体の皆さんが頑張るぞという話をいただいた。</p>
委員	<p>民生委員はお年寄りの一人暮らしの方々を1件1件回っているので、チラシを作って回そうかという話を今進めている。そういうのも1つの方法である。</p>
会長	<p>いろんな公共の場所に市民憲章をどんな形でもいいのでできるだけ目に触れるところに掲示してほしいという意見をいただいた。</p> <p>その時に額に入れて注目してもらえるようにという意見もあった。お金がかかることなので検討していただければと思う。</p> <p>それぞれの公共施設の管理の問題もあると思うが、市としての市民憲章ですので、適切な形でできるだけご協力いただければと思う。</p> <p>それから2つめとして、唱和は市民の皆様には強制しているわけではない。ただ声に出して読んでみると、響きのいい言葉でできているところもあって、全体の言葉の調子とつながりも滑らかに作ってもらっているので、文字で読むよりはむしろ言葉にしていただくと別の想いが広がっていくと思う。</p> <p>できるだけ市民憲章を定める市側としてはいろんな機会でも口にして読み上げる、そういう機会があるといいなというのが私たちの想いです。</p> <p>まずは策定に関わられた委員さんがいろんなところで読み上げて、広げていただけることもいいかなと思う。</p> <p>少なくとも市の公式行事では、市側で最終読み上げますというくらいはあっていいかなと思う。</p> <p>作成に関わった団体の皆様にはご賛同いただけたらと思うが、この市民憲章、共通の想いを共有してもらって広げてもらいたい。多くの方に知っていただきたい。ぜひ市も協力をいただけるような団体を積極的に募っていただき、地域での様々なPR機会に活用していただきたいと思う。</p> <p>市民憲章を絵や歌にするとどうなるのかということがあった。これもアイデアとして考えていただきたいと思う。</p> <p>市民の皆さんにどう広めていったらいいかアイデア募集もいいかなと思う。</p>
委員	<p>活用例として、会議次第の一番下に市民憲章を入れてもらってはどうか。私達の地域では会議の都度に笑顔のスローガンを皆さんから募集して入れている。</p>
会長	<p>市の封筒にも記載してはどうか。</p> <p>市の広報等でも継続的に出していただくような方法もいいかもしれない。定着することをめざしてやっていただければ。</p> <p>コミュニティのやっていることも参考にいただければと思う。</p>
委員	<p>広報誌は意外と毎回よく読んでるので、端に書いていただければいいと思う。</p>
会長	<p>お披露目の時は大きく書くと思うが、端に載っていても意外と目に留まることも</p>

発言者	発言内容等
	<p>あるかもしれない。</p> <p>これから市民憲章が決定された暁には、市民の皆さんの憲章になっていくような努力を市としても尽くしていただきたいと思う。ここにおられる地域や団体の方もそれぞれの立場でもぜひ積極的に広めていただきたいと思う。</p> <p>なお、市議会ではこの検討委員会というのを幅広く市民の方から意見を集めたうえで議論した方が良かったのではないかとあったが、当委員会でも当初から市民憲章の性質上そういう手法はなじまないのでは、むしろ関心を持った市民代表の立場を意識しながら議論していく中でよりよい案文を作れるのではないかと、またプロセスの中で議論を重ねていくことが重要で、そういう手順のためにも検討委員会での議論が市民参画であり議論を尽くす場であったということをご理解をいただきたいと思う。</p> <p>【今後について事務局説明】</p>